

みんなの党大津通信

第10号

平成24年
7月1日発行

発行人 会派「みんなの党大津」／大津市御陵町3-1 市役所本館3F 議員控室／TEL.077-528-2726／FAX.050-3488-7717

みんなの党大津からのご挨拶



【本会議一般質問の模様】

今年も暑い季節がまた巡ってきました。平素は格別なるご高配を賜りまして、誠にありがとうございます。

津」からも藤井哲也議員が一般質問に立ちました。

国民的議論となっている「社会保障と税の一体改革」に関連して、今大津市議会でも、一般質問ならびに意見書の採択において議論がなされました。【裏面に詳細】

「みんなの党大津」の基本スタンスは、社会保障改革を伴わない「単なる消費税アップ」には断固反対の姿勢であり、またデフレ下でのタイミングが悪い増税は、一層の消費活動の減退になり、結果、企業活動の停滞、雇用環境の悪化、総収収の減収につながることは明白です。

また、「中学校工アココン実施設計費用」、「湖西線北部5駅バリアフリー化可能性検討費用」、「学校給食の食材放射性物質検査の事業費」や「待機児童解消特別対策補助金」などの補正予算が議決され、市民にとってプラスとなることと思います。

逆に財源として、市の積立金とも言える、貴重な「財政調整基金」を3億円も取り崩すなど、市財政の悪化が目立つものとなりました。

市長は今後、行財政改革プロジェクトを推進することとのことで、市議の本分として、市政チェックをしつかりと行い、不十分な行財政改革になるならば、「公務員制度改革」をメインに、徹底して追求してまいります。

何卒今後ともご指導ご鞭撻を下さいますようお願い申し上げます。

「藤井哲也の市政一般質問と答弁(要旨)」

1 『大津から人口減少を食い止めるための目標値の設定』

藤井哲也からの質問

市長は「日本の人口減少を大津市から食い止める」と高らかに宣言された。私も日本の社会保障制度の維持のため、経済成長のために少子化対策は、我が国が直面する最大の課題の一つと認識する。一般的に、人口減少を食い止めるためには、合計特殊出生率が2.08を越える必要があるとされ

ている。大津市の今後の政策立案の算定基礎目標とするためにも出生率の現在値と4年後の目標値を設定するべきと考えるが？

市執行部の答弁

【政策調整部長答弁】現在の本市の合計特殊出生率は、1.35である。また、4年後の出生率の設定は現状よりも少しでも高めるようにしたい。

みんなの党大津の考え

市長サイドの歯切れの悪い答弁だった。民間企業ならば、各部署の目標値の設定のためにトップ自らが目標値を設定する。しかし大津市では、トップが目標値を明言せず、部下にだけ目標値を設定しろと言っている。組織のトップとして市長にも責任をもつて、目標値の設定をして頂きたい。

2 『真野大野の不法投棄ドラム缶の処理』

藤井哲也からの質問

昨年11月議会で私が大津市の姿勢とスケジュールを問い、また今年2月議会でも地域住民の切実な声を届け、真野大野にある不法投棄されたドラム缶の処理について

市執行部の答弁

【環境部長答弁】今議会に提出されている補正予算議案が採決されれば、速やかにドラム缶の処理に取りかかりたい。処理に着手後、2か月を目途に完了させたい。また内容は引火性があるため、地域住民へ事前説明を行う。安全対策も(吸着脱臭機を用いるなど)適切に行う。撤去後についても、引き続き、検査を行っていく。

みんなの党大津の考え

昨年から議会で幾度と取り上げてきた本件。最終処理が完了するまでチェックを続けていきます。

【ドラム缶の最終処分に向けたスケジュール】



